

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	建築アーカイブス小委員会	主 査 名：加藤雅久 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：石田潤一郎
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	国内の建築アーカイブズ組織相互のネットワーク形成と情報共有。 また建築アーカイブズのもつ課題への対応の検討 1. 国内の建築アーカイブズ組織による合同活動報告会の開催 2. 建築アーカイブズの運営にかかわるワークショップの開催 3. 上記をつうじて共有された課題の整理と、それへの対応の検討	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 加藤雅久 (主査、居住技術研究所)、齋藤歩 (幹事、京都大学)、戸田穰 (幹事、金沢工業大学)、遠藤康一 (8d/遠藤康一建築設計事務所)、笠原一人 (京都工芸繊維大学)、倉方俊輔 (大阪市立大学)、佐藤美弥 (埼玉県立文書館)、藤本貴子 (文化庁国立近現代建築資料館)、増田泰良 (東京工業大学付属高等学校)、三宅拓也 (京都工芸繊維大学)、本橋仁 (京都国立近代美術館)、安田徹也 (竹中大工道具館)、山崎鯛介 (東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)、ほかに主査幹事のための Skype 幹事会 1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	初年度は 3 つの活動計画を立てた 1. 東日本の建築資料所蔵機関による合同報告会の開催、ならびに 2. 建築アーカイブズ運営にかかわるワークショップは 3 月 30 日 (土曜日) に、文化庁国立近現代建築資料館にて開催予定 3. アーカイブズ、アート・ドキュメンテーション、キュレーション関係者へのヒアリングについては実施できなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 現在中部・近畿の委員が 8 名、関東の委員が 4 名となっている。旅費が不足している。2018 年度は関西部会としての会議をもったが、今後建築会館あるいは東京以外での活動のあり方を具体的に考えていく必要がある。 2. 建築資料管理の当事者に非会員が多いため、非会員との連携が必須